

かんさつ

観察してみよう！

じゅうぶん しろぶちゆてきてんもくはち

重文 白縁油滴天目鉢

ちゅうごく きんじだい せいまき
中国・金時代 12～13世紀

重文 白縁油滴天目鉢とは

じゅうぶん つく にほん そとがわ うちがわ
中国で作られた後、日本にやってきました。外側と内側のキラキラ
ひか ぎんいろ もよう ゆてき ふち しろ とく
光る銀色の模様（油滴といいます）や、縁が白くなっているのが特
ちょう
徴です。

Q1. 手ざわりはどんな感じだろう？

A. ガラスのコップを持った時のようなツルツルした感じ

B. お布団をさわった時のようなフカフカした感じ

C. おもちをさわった時のようなプニプニした感じ

こた
答え



よこ すがた
横からの姿

Q2. どんなふうに使っていたのかな？

A. 金魚を飼う

B. 植物を育てる

C. お茶を入れる

こた
答え



うらがえ すがた
裏返した姿